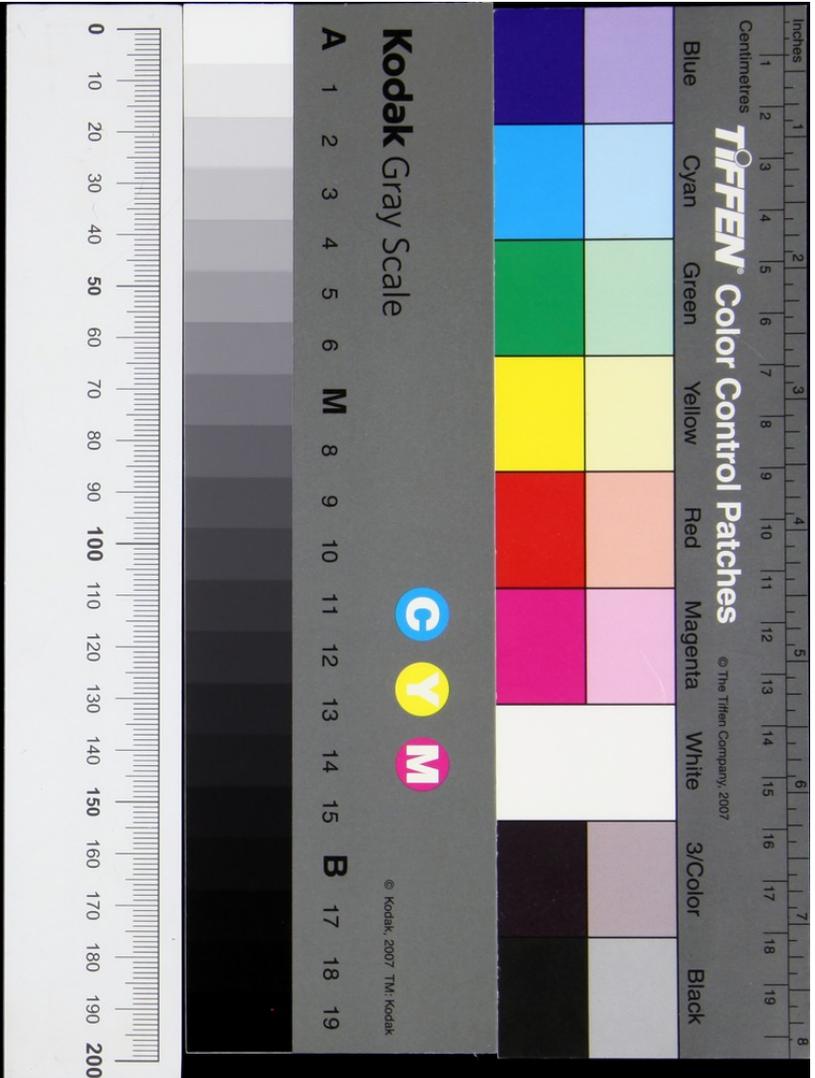


絵入源氏物語

卷四十四 竹かは

梶山女学園大学デジタルライブラリー

梶山女学園大学図書館



竹の皮
四 多し小字并二
 哥心詞を若くしり

絵入源氏物語 四十四卷

葉十郎はもより女中のさる
 るれいげくごのぬさういもえちられぬ**禁り王堂蔵書**
ひげぶ びつとそま
 大坂つらりはありけうごらうごらうのぢらうとらり
はろららと女
 のうれうらうごらうごらうごらういあうらういむうらうい
あうらうごらうごらうひげまのやうごらうごらう
 ゆりうらうごらうごらういあうらういむうらういむうらうい
あうらうごらうごらうひげまのやうごらうごらう
 源氏のぬすあぐいひがういあうらういむうらういむうらうい
冷葉 及びあうらういあうらういあうらうい
女中ノ名
 まゆらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
 けう人のびうごらうごらうごらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
 るはまうらうごらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
 中子いあうらうごらうごらうごらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
 をあうらうごらうごらうごらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
 月のおうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい
あうらういあうらういあうらういあうらういあうらういあうらうい

名カワ野

禁り王堂蔵書

流しうば着のわしうそつりーとつそざ
 びー志^{むし子屋}わづ人もなまらぬ人の心時り
 のしうらつざわりたれがばりつさひひく先
 ちくおしきー^{ひげぶ}のぬ名あうちくのぬし
 物やうー^{いじま}後さうぐそのこのあぐり人
 ちけれど太るのま後引人さうやうよ
 うちちめやうー^{いじま}ちりゆくんの志まぬらうさゆ
 かりそそそそそいー^{いじま}ひろざりー^{いじま}中
 やんごちちぬちうー^{いじま}ひのもよりも
 ー^{いじま}あ飯のちうけすー^{いじま}とられびく
 志さすざめ入りける中がよそ心とられぬこも

五

わりけらゆりよわされもえちうー^{いじま}
 くるい流し守六条院うけすてれ昔りうそ
 くるまへさそそいひて失のひかん後のとがとせら
 ぬくろぬさうがんのあごどもも^{ツネ}中家のぬつざ
 くる人なりぬれがぬのちあちば中くそれ
 ころわりてざうぶさちりくそとづれ男^{ムネ}流男
 志^{いじま}遊のぬ元^{んぐ}服ちどー^{いじま}をれくおとちび流
 くるあかりもで後^{いじま}心もとなく衣あつことあれど
 志^{いじま}づしちりつでぬあべあり^{いじま}娘志^{いじま}くらせづく
 くるなー^{いじま}しんとお^{いじま}ー^{いじま}今上^{いじま}も^{いじま}あ
 づへのかいすさうー^{いじま}な^{いじま}あ^{いじま}のそー^{いじま}志^{いじま}

こればかりでびわのわんわん〜年月とせし
〜せのひてあはせごと〜すあれど申交の
り〜わびののちりままり治れけしひ
とれて女いん人じ〜よめ〜治めふすあ
ま〜り〜めとせげめれもえんも〜づ
〜人よと〜救ちめ〜ゆよ〜ん
〜ち〜く〜へ〜も〜ふた泉院
〜らん〜の〜んむの〜ぬ
昔い〜て〜ひ〜つ〜さ〜ん〜り
〜海〜付〜は〜は〜す〜す
〜海〜付〜は〜は〜す〜す

4
わ〜ら〜〜て〜づり〜ん〜ま〜わ〜
笑のひれ〜むん〜あ〜ん〜ち〜ん〜ん
〜の〜ら〜ら〜す〜す〜の〜か〜
づ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
わ〜び〜よ〜す〜と〜や〜ん〜と〜れ〜
ち〜き〜の〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
あり〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
花人のおぬ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
兄〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
か〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜

は後ハ披ニ紫の女三家とてりらるる箱ちれはさるる人
ありくのあそび一あよはおんききま遊ま遊ひわけてしめふ
時どわり心よくさ女のいりするあちれはつらさ男の
心づひをわちうしうしうづひを腹より中より
ちれうきはこれらさぬ花人のあおちうし
心うづりげとてちまめいさうさるるこれ口位忠
竹若後の由も極によう人ぞありけり保お紫院の由
けしひらうしうしうちうすうとちうしうわあん
世中をまげしうしうわあづれあくる人あり
つらさ人づいしうしうわあづれあくる人あり
しそわもたれちうぶのあひてちうしうしうわあづれ

6
ちうす院保のねいど人とちうしうわあづれあくる人あり
ううづりしうしうのいおあゆゆをされぬしうしうま
これとけしうしうしうのあつとていしうしうしう
ねねどしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう
のわてしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう
あもさうぶらあしうしうしうしうしうしうしうしう
すさべしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう
とぞあましうしうしうしうしうしうしうしうしうしう
しうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう
つらちらぶらんのあしうしうしうしうしうしうしうしう
くさうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

くりはあつていふべしとていふに
 ちせの人のまをさうりさうりさうり
 ぐさのれありき殿もさうりさうり
 りつとさうりさうりさうりさうり
 久人よりちびりさうりさうり
 ぐさのれありき殿もさうりさうり
 さいと女ナメ一ヒト文フミの女メ出デるルにニあアらラしシのノわワらラんンとトいイふフ
 人ヒトさサやヤうウのノはハさサらラしシのノさサらラしシのノさサらラしシ
 一ヒトのノおおれれちちんんづづれれぐぐのノさサらラしシのノさサらラしシ
 わりき殿もあつていふべしとていふに
 さうりさうりさうりさうりさうり

ちせの人のまをさうりさうりさうり
 さいと女ナメ一ヒト文フミの女メ出デるルにニあアらラしシのノわワらラんンとトいイふフ
 人ヒトさサやヤうウのノはハさサらラしシのノさサらラしシのノさサらラしシ
 一ヒトのノおおれれちちんんづづれれぐぐのノさサらラしシのノさサらラしシ
 わりき殿もあつていふべしとていふに
 さうりさうりさうりさうりさうり
 さいと女ナメ一ヒト文フミの女メ出デるルにニあアらラしシのノわワらラんンとトいイふフ
 人ヒトさサやヤうウのノはハさサらラしシのノさサらラしシのノさサらラしシ
 一ヒトのノおおれれちちんんづづれれぐぐのノさサらラしシのノさサらラしシ
 わりき殿もあつていふべしとていふに
 さうりさうりさうりさうりさうり

かんのおぼろくのさくらおぼろけのさくら
 やぶらぎのげちちまめ人ぞまへくそおぼろけ
 とまびでののよちりまへ人ともそつひれられど
 しころぬれとさひおのりあつたれおのりはたあぶら
 まぶさねばさちぐもわりそおひりあひさ
 せんくれゆさわらざりしそくさむれ
 さうづらざりさくぞめりむりかむいむら
 ぬふまよお院ほよつとさうこそおぼろけ
 られままいのくもさくもねなげひのゆ
 ちあやうさあめつちあてちほぞれぬま
 ざうちひやうさうさくはさかひりさう



ちびちび出さるゝとてうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 とまりうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 竹まゝんのささぎもあ人の名はうねりしとちひなれど
 女まへよ目の此梅の葉さうりちうよまひすくちびよさり
 うされーすき物ちういんしとさうておんし子あゆ後の
おんし子ちういんしとさうてあゆ後の
 すすちう人おんし子とてさうりうねかんちひけつを
 ひさささめされびつひしとちうらつらよかおちり
 たりちん後のうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 すくしとてさうりうねかんちひけつを
 人のゆきぬとちひしとてさうりうねかんちひけつを

ちびちび出さるゝとてうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 とまりうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 竹まゝんのささぎもあ人の名はうねりしとちひなれど
 女まへよ目の此梅の葉さうりちうよまひすくちびよさり
 うされーすき物ちういんしとさうておんし子あゆ後の
おんし子ちういんしとさうてあゆ後の
 すすちう人おんし子とてさうりうねかんちひけつを
 ひさささめされびつひしとちうらつらよかおちり
 たりちん後のうらちへはなれぬよ地を運かこめあし人
 すくしとてさうりうねかんちひけつを
 人のゆきぬとちひしとてさうりうねかんちひけつを

そと^{せいの}もつよ^{しほし}はうけい^{あつ}うら^{しほ}らうらうら^{しほ}うらうら^{しほ}
 うれ^{せいの}ひこがらうらうら^{しほ}うらうら^{しほ}うらうら^{しほ}うらうら^{しほ}
 まり^{せいの}よく^{しほ}け^{しほ}の^{しほ}ふ^{しほ}ち^{しほ}う^{しほ}ぞも^{しほ}ぞ^{しほ}わ^{しほ}び^{しほ}う^{しほ}う^{しほ}う^{しほ}
 じ^{せいの}ほ^{しほ}い^{しほ}あ^{しほ}の^{しほ}ま^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}け^{しほ}て^{しほ}の^{しほ}ね^{しほ}び^{しほ}
 ふ^{せいの}くれ^{しほ}ど^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}じ^{しほ}ま^{しほ}や^{しほ}う^{しほ}く^{しほ}あ^{しほ}ま^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}
 くら^{せいの}が^{しほ}わ^{しほ}ら^{しほ}れ^{しほ}源^{しほ}の^{しほ}ま^{しほ}の^{しほ}う^{しほ}け^{しほ}の^{しほ}あ^{しほ}
 わ^{せいの}れ^{しほ}れ^{しほ}人^{しほ}れ^{しほ}よ^{しほ}も^{しほ}あ^{しほ}ま^{しほ}う^{しほ}あ^{しほ}あ^{しほ}あ^{しほ}あ^{しほ}
 ん^{せいの}ド^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}ち^{しほ}び^{しほ}さ^{しほ}し^{しほ}ら^{しほ}て^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}ち^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}
 人^{せいの}の^{しほ}あ^{しほ}れ^{しほ}ま^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}い^{しほ}す^{しほ}ん^{しほ}独^{しほ}ど^{しほ}ま^{しほ}ま^{しほ}
 の^{せいの}あ^{しほ}ら^{しほ}ち^{しほ}び^{しほ}さ^{しほ}し^{しほ}ら^{しほ}の^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}
 む^{せいの}つ^{しほ}や^{しほ}表^{しほ}も^{しほ}あ^{しほ}ん^{しほ}悔^{しほ}の^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}
 ち^{せいの}も^{しほ}あ^{しほ}ん^{しほ}悔^{しほ}の^{しほ}あ^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}う^{しほ}ら^{しほ}ち^{しほ}も^{しほ}あ^{しほ}ん^{しほ}



アキ後よぞありけり院冷へあり給らんことおのは道おのぞ

ち成もれくも人ちささうちりこそすべされまらびの

くくすつつけさうこそ世人もゆく守りれげり

いとちまもまゆいさあり冷いふよまぬらひ

ちちりま守りれどさうちめゆらぞすうわ

琴笛のちへ冷鳥のめをもももももももももももも

びひてこそ人のこもももももももももももももももも

いふちびやめ人のつおのわもどめりやんおのいふち

へのさささもちちやうよてのち物ーぬふ

めいさそちちくもてまざらんいびひひひひひひひひひ

人けりれちちくもやあんとつまーぬれが

おのおもももももももももももももももももももももも

ちち守り今いひありさ極よもてちりてまうー

せちのちのちりてちれ物衣ちりおの中ちちくもちちのち

後おの道いりちちくももももももももももももももももも

ぬふささそちちけちよてぶぶんより守いひちりちり

りん方よそをさうとてんとくもあれりーちりちり

ぬふくさうちれびさーちりちりてちりちりてちりちり

まらさあびて人びちれいびちねんとまあありちち

例おののちわゆ後のまのぬさうーちりちりちりちりちり

ちちつれてちちよちれいちちち人すくちちちちち

らうのちのあささうちちちちちちちちちちちちちちち



くらまればさあがりてさうけふらぬちびのあつれ
 りあへんよあうらへんころちすらももちあつてあつて
 ちんくづれの霧のまぶれいさやうあつねどづく
 づとさうればさうらあめあやめそれとさうら
 のびよらりあんのちのくさよもさうけあつてあつて
 あつてさうらあつてさうらあつてさうらあつて
 さうらあつてさうらあつてさうらあつてさうらあつて
 さうらあつてさうらあつてさうらあつてさうらあつて

はちまんのわん び ちまんのわん
たぐさきよひのしほのらむるもやあまのわん
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
よとたよちしやひのしほのらむるもやあまのわん
ぞうしほのらむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ

いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ
いふはかりおこしむるまじし一のひまのよ

はつちまのわん
はつちまのわん
はつちまのわん

花人の
つがわらぬぞ守るわがよふかぬかひら

まろのこころちりり申ねうらりりて

申ねのうら

こりちわつりちるまらんちりまけそち

花人の心

ひとひらうらまらちりちりちりちり

花人の心

わかれそよそちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

わすまらちの目打月一ちりちりちり

花人の

まぶらりのちりちりちりちりちり

つりてちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

花人の心

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちり

まつりやといふに...
 わらわ^{猶女}...
 人...
 あひ...
 の...
 ま...
 ま...
 ー...
 い...
 や...
 の...

くれ...
 げ...
 ま...
 す...
 由...
 う...
 兼...
 む...
 ま...
 む...
 へ...
 へ...

美_ノ此_以あられあつうき_三人_五で切_七く_九る_{十一}
 切_{十二}らて_{十四}人の_{十六}やう_{十八}く_{二十}も_{二十二}び_{二十四}沿_{二十六}い_{二十八}ざ_{三十}り
 く_{三十二}ぶ_{三十四}く_{三十六}の_{三十八}き_{四十}すが_{四十二}よ_{四十四}る_{四十六}う_{四十八}う_{五十}ち_{五十二}り_{五十四}ら_{五十六}ち
 出_{五十八}る_{六十}も_{六十二}も_{六十四}あ_{六十六}が_{六十八}う_{七十}こ_{七十二}も_{七十四}く_{七十六}ら_{七十八}福_{八十}よ_{八十二}
 今_{八十四}あ_{八十六}う_{八十八}く_{九十}う_{九十二}う_{九十四}ぐ_{九十六}れ_{九十八}ば_百け_{百二}ら_{百四}あ_{百六}り_{百八}す_{百十}れ_{百十二}ど
 ま_{百十四}つ_{百十六}り_{百十八}給_{百二十}に_{百二十四}六_{百二十六}条_{百二十八}院_{百三十}の_{百三十四}路_{百三十六}哥_{百三十八}の_{百四十}あ_{百四十二}う_{百四十四}こ_{百四十六}う_{百四十八}ま_{百五十}あ_{百五十二}う_{百五十四}こ_{百五十六}う_{百五十八}て
 あ_{百六十}う_{百六十二}び_{百六十四}き_{百六十六}れ_{百六十八}け_{百七十}ら_{百七十二}と_{百七十四}面_{百七十六}白_{百七十八}り_{百八十}ま_{百八十二}く_{百八十四}若_{百八十六}の_{百八十八}あ_{百九十}ら_{百九十二}ま_{百九十四}の_{百九十六}あ_{百九十八}ら_百
 こ_{百二}う_{百四}れ_{百六}ー_{百八}ち_{百十}う_{百十二}ま_{百十四}も_{百十六}は_{百十八}け_{百二十}り_{百二十四}の_{百二十六}ま_{百二十八}ら_{百三十}の_{百三十四}ま_{百三十六}ら_{百三十八}
 ち_{百四十}る_{百四十二}べ_{百四十四}き_{百四十六}人_{百四十八}ま_{百五十}く_{百五十二}け_{百五十四}ら_{百五十六}ま_{百五十八}ち_{百六十}ら_{百六十二}わ_{百六十四}ら_{百六十六}か_{百六十八}の_{百七十}地_{百七十二}の_{百七十四}ま_{百七十六}ら_{百七十八}
 ち_{百八十}る_{百八十二}女_{百八十四}え_{百八十六}ん_{百八十八}お_{百九十}け_{百九十二}く_{百九十四}あ_{百九十六}つ_{百九十八}ま_百ら_{百二}て_{百四}ぶ_{百六}ら_{百八}ま_{百十}ち_{百十二}も_{百十四}あ_{百十六}ら_{百十八}ま_{百二十}も
 切_{百二十四}く_{百二十六}ら_{百二十八}ん_{百三十}ち_{百三十二}ま_{百三十四}ら_{百三十六}ま_{百三十八}そ_{百四十}う_{百四十二}や_{百四十四}う_{百四十六}ま_{百四十八}て_{百五十}焼_{百五十二}く_{百五十四}も_{百五十六}が_{百五十八}と_{百六十}い_{百六十二}ん_{百六十四}



わぢもさうねぶありちていひがさすおすおあり
 ちりーまお位の中おさうりてさくありさう
 さへあさまはーりりさわちまもさうらつらさ
 つらまうり人いづらまのびつらあさげちま
 ありさうよりいちまづりまありてさくありさ
 ーいお中おられさひさあてーいおさくさうくも
 つらまさひつたおたおたおのぬじすめささくれど
 あさくさもさうさうのささあつひさちまの
 ささくさくさうさうさうさうさうさうさう
 あつらうさうさうさうさうさうさうさう
 ささくさうさうさうさうさうさうさう

よはあさぬねありさゆをさあさあさあさあさ
 さい中さうさうさうさうさうさうさうさう
 ーいおもあありささささささささささささ
 大たさささささささささささささささささ
 大たさささささささささささささささささ
 このさう中おさ中納まーいお位おのささささ
 ちりてさくさうさうさうさうさうさうさう
 ちさささささささささささささささささ
 さささささささささささささささささ
 さささささささささささささささささ
 さささささささささささささささささ

